

平成 28 年 2 月 3 日  
リサイクル燃料貯蔵株式会社

## リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

### 1. 新規制基準の適合審査の状況

新規制基準への適合性確認の審査を受けるため、平成 26 年 1 月 15 日に「事業変更許可申請」を提出し、原子力規制庁によるヒアリング審査が、平成 28 年 1 月 13 日までに、100 回（施設関連 82 回、地震・津波等関連 18 回）が行われております。

- ・施設関連は、「基本的安全機能」「竜巻」「外部火災」「設計最大評価事故」の適合性説明を進めており、その際に受けた指摘・質問（460 問）への回答も 94%完了しています。残りの主な課題として、「竜巻が施設に与える影響評価」の説明を予定しております。
- ・地震・津波等関連も、「地下構造の評価」「敷地の地質・地質構造」「敷地周辺の活断層評価」「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」「基準津波及び火山影響評価」の適合性説明を進めており、残りの主な課題として、「震源特定せず策定する地震動」「基準地震動」「地盤・斜面の安定性」の説明を予定しております。
- ・引き続き、早期の審査完了を目指し全力で取り組んでいるところです。

### 2. 貯蔵計画の届出について

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律及び使用済燃料の貯蔵の事業に関する規則の規定に基づき、貯蔵計画（平成 28 年度から平成 30 年度までの 3 年間）を、平成 28 年 1 月 29 日に原子力規制委員会への届出を行いました。

（リサイクル燃料貯蔵（株）ホームページ：<http://www.rfSCO.co.jp/>）

以 上